

# わたぼうし家族会だより

2015年 第3号



## みなさんで再確認♪

今回の勉強会では、認知症の基礎知識と介護者の対応の仕方について、わたぼうしの精神保健福祉士(河合)からお話させていただきました。以前にも取り上げたテーマですが、今一度知識の整理と理解を深めるために、手作りの資料を使って認知症のタイプとそれぞれの主な症状、よくある問題行動の種類、家族の対応の仕方、介護保険の手続きの仕方や社会資源の使い方など、日頃介護されている方々が疑問に思う事柄全般について解説しました。参加者の方々からは「うちの人は認知症の種類で言うとこれに当たる気がします」や「このような問題行動は以前うちでもよくありました」など介護している認知症家族の状態と照らし合わせたり、昔と今の認知症家族の状態を振り返られたり、紹介された各種施設の特徴について質問されるなど、みなさんそれぞれ知識と介護経験を持っていらっしゃる方ばかりでしたが、熱心に話を聞かれていました。使用した資料もとても分かりやすいものでしたので、今回参加できなかった方で資料を希望される方がいらっしゃいましたら気軽にわたぼうしまでお声掛けください。資料を差し上げます♪



みなさん熱心に聞かれていました！

## ご家族のさまざまな想いを聞きました！

交流会では、施設入所している方やショートステイを定期的にご利用している方のご家族から、施設を利用してみて思ったことや施設生活と在宅生活それぞれのメリットデメリットなど、ご家族の方の率直な意見が交わされました。毎日介護するのはストレスが溜まってしまいますのでショートステイや施設入所などを利用したい！でも、思うような施設に預けられない！預けることができたけれど、認知症家族の施設での様子が気になる…など、悩みは尽きないようです。参加者の皆さんは、さまざまな社会資源を利用し、自分と認知症家族の今後について考えながら日々介護をされている様子でした。話を聞いていて、わたぼうしでも利用者さんとその御家族のニーズに耳を傾け、1日でも長く在宅生活を続けられるよう、これからも支援していきたいと改めて思いました。



### \*豆知識\* 早期診断が大切な理由とは？

認知症かな？と思ったら早めに受診を！とよく聞きます。認知症には脳の病変によって治らないものと適切な時期に手術などの適切な処置がなされることで認知症症状が改善するものがあります。例えば、脳外科的な病気で脳腫瘍や慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症、内科的な病気では甲状腺機能低下症、脱水でも認知症の症状が現れます。このような治せる原因が隠れている場合があります。またうつ病も認知症のような症状が表れます。「認知症かもしれないから」と言うと連れて行かれる側も受診したいと思われにくいことも多いので、上記のようなことを理由に受診を勧めてみるといいかもしれませんね。



\*\*\*\*\* 次回開催予定 \*\*\*\*\*

2015年10月17日（土） 12:30～14:30

詳細は後日ご案内いたします！